

雨よけ春夏秋収穫栽培のアスパラガスにおけるコフナの使用法

ニチモウ株式会社

ターゲットは根の分解と有機物の活用！



古い根を早期に分解する

→ 腐植化

→ 病原菌の繁殖より有効微生物の増殖を

投入した堆肥を肥料化、そして物理性の改善に役立てる！



コフナは、①根に刺激を与え、発根を促します！

②残根・残渣・有機物を腐植化させ団粒構造を作ります！

(土を柔らかくし、根が広く深く伸びる環境を作ります)

③乾燥状態以外であれば、高温・低温・土の深さそれぞれに活躍する微生物を含み、土壌改良を進めて行きます！

根の新陳代謝がスムーズに運べば安定して栽培が継続できます！



立茎後



←コフナ区

慣行区→



2014年八女

一般的な使用方法

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	∩	収穫			◎	夏秋芽収穫				×		
	保温開始			立茎		株養成			茎葉刈捨て			
	コフナ				Ⅱ. 3~5 袋/反				Ⅰ. 7~10 袋/反			

- I. 冬場の全刈後、堆肥と共に
栽培終了し、全刈を行った後に堆肥と共にコフナ MP を全面に7~10袋/反投入し軽く混和。もしくはコフナ散布後、堆肥を散布。
- II. 立茎時の肥料と共に
元肥を散布する時に、コフナを3~5袋/反散布。I.とII.を合わせて10袋/反以上投入してください。

欠株の補植を行う場合

部分改植を実施する場合は、前作の残渣を除去・分解する必要があります！
その為に、春に定植を行うのであれば、前年の夏から秋にかけて株をできるだけ除去し、コフナを1kg/坪程度を散布混和し、水分を十分に散水しビニール被覆して下さい。早ければ早いほど活着は良くなります。



2015年 諫早

※コフナによる太陽熱消毒ではありませんので、地温が高くなり隣の株に対して熱による悪影響を与えることはありません。

注意点

- コフナは乾燥していると動きが鈍くなります。散布後乾燥させないように水分を与えてください。